

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和7年6月18日（水）
8：50～12：25（1～4限）
場 所：松江市持田町坂本
県指定史跡薄井原古墳
対象者：松江市立持田小学校6年生 39名
指導者：○6年部教職員（3名）
○県埋文センター（2名）

1. 主題（主題名）

古墳時代の持田地区について

2. ねらい

- ・身近にある遺跡の見学を通して、古代の人々の生活や思いを知り、島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

3. 見学方法

- ・6年生2クラスがクラスごとに見学。さらに横穴式石室は1クラスが2班に分かれて見学（計4班）。

学習活動	指導者の支援及び留意点
8：50～9：20（30分） ○移動：学校～バス～薄井原古墳付近民家 ※第2クラスは9：50開始で、1時間遅れで同様の活動を実施。 9：30～9：40（10分） ○薄井原古墳の概要説明 9：40～10：20（40分） ○墳丘の形や大きさについて見学 ○横穴式石室（2基を交互に）の見学 10：30～10：50（20分） ○遺物見学 古墳出土の土器（須恵器）や鉄器（刀や鏃など）を説明 ○古墳の主について説明 （京都にあるそっくりな古墳との関係など） 10：50～11：25 ○移動：古墳～バス～学校（35分）	<ul style="list-style-type: none">・古墳の大きさが分かるように、実際に歩いたり、パネルで学校との大きさ比較などで体感する。・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう質疑応答の対話形式で進行・発掘調査でみつかった石室内の様子や、遺物の出土状況を写真パネルなどで説明・土器については、実際に触れたり、近くで観察したりする時間を設定（鉄器は実物大写真パネルで対応）

4. 準備物等

- ・〔説明用具〕遺物、説明用パネル、ワークシート
- ・〔備品〕
- ・〔児童の装備〕長袖・長ズボン、帽子、水筒、虫除け